と、羅津、雄基清津は北
基、麗津商に破迹で敷設

地方の産業は十分開設されるとわなかつた。この新線により間あながった。この新線により間も非常釆交通の便に思まれてお線は産業の重要部分であるに

朝鮮の中央部を貫通するもので 今井田 總監 ・ 今回の殿道は

から敗革する必要ありと思ふが、 陸遠離航するのか から敗革する必要ありと思ふが、 陸遠離航するのか

今井田總監と吉田局長答辯

新造など

める國境空の護 九師團が今秋九月中旬を期し 本京城女子高雯學校 九十名、 四日午前十時五十分內地へ、六 門一日前劉琳 一日前劉琳 一日前劉琳 一日前劉琳

北鮮、間島に防空演習

朝鮮軍司令部幾表第十九節團は今秋九月 **電部の演習、軍部と地方側との監問の演習およびその他**

通出会に頭において軍部自撤これを行ふ、しかしてその中職際、関興、難城、蘇城、倉庫、高脚、鎌城の王郡加地城左の如し

第十九雕麟が代状九月中国ごろ駿行する北龍勝を画習について

週誾剛に御解訓練を完了しあるを要す、これがため軍部は第部「振りを熱心に喫紮、激酶の辭を與本演習は最初より飛記下に實題せらるくを以て地方急加蘭體湃」る地方中略將平線書麿に[蘇風受謝] 八日朝に川から自動車で水痕に大河内子 ※相は財政の見透

政的原因

職を跳退したグワテマラ政府の通 部を娑唆した。 通告支にはグリテ ガナーし日間盟」職闘事務 聯盟通告接受



有選挙的團體

の組織に截して大陸朝鮮せられてると云ふが能り急激な差章をすると云ふが能り急激な差章を 大河內輝耕子(研究)

振肅委員會を再編成

一、〈〈第力を取けて來たが、豫算案 ので、いよくく近く振龍委造館初一、可供し間に置版絵に密附された。 性福成し、福智機能を一般機能す 時中極してゐた路鹽振瀚委員節を「東京軍話」富田楽館設証長は「

| 「東京電話| 内称省整保局では、一戦の能に「北方総議総な分子の策」は特に整建し窓所が医院を修行すると称名は、またらの建則より民政党の町田總。「六年恨後におけるは健治状態が、動は政府の諸連勝に動すると書記にあり、と重視してこれに着り共、につき巻連路を初め金調各所経費」に行診解の諸道に解く刺親されて、安護家は諸族郷し無しとなし成行。 「現る所はしまって教成説法は、然志に設重者令して査察的保をつ、国常級武を要すべき事態にあり、を重視してある。 これを省略し直もに叙決に入り全。とけてゐたが協立の権右援階能の「殊に成政令解消後の事象に對してるる。 **相當嚴戒を要する事態**

き開議を進めることになったが

重査察の眼

館の今後は細富畑倍をかけられて

丸に暴風警報

ハー七月の航路波高し警戒すべし

る三つの戯が的行動を組織せんとする須配がらか、 大手 一は 情報を覚して 阿田県大郎 一般中立端見の反覆を踏変した。そしてこの関関 般中立端見の反覆を踏変した。そしてこの関関 の表言で阿田県大郎一次・大手では、大手では一般であるに至った。 質をスタートしたが質問の經過と共に有力な 東京南西一政府は最初服る好調理に特別派

溝渠が深刻化するか(3)寺内陸て反映するか(2)政府、政黨の當大衆的な輿論义は行動となつ 想されるが、駐中第三の即ち軍部が陸相響任を 相の辭任問題が起るか三つの事が象

いた三つの低氣壓

ム首相の令

貴族院豫算總會

はエチオピア空機に暮々たる武師

投稿の事優は十分なる検討をせ

歴义言試験は來る八月七日から京 **以法、艮雅法、經濟、民粮事**章 月は極新、作文、夏新、

第四十版團長 十八日大邱

病をふるはせ、双眼からは湯のや

あた。

さ、それが何か

たと、この身を

「はつ……」年景は、わな!

行中十七日**夕臨**端 す、折入つて、御郷鰕を帯たう存る現作氏(噺取々引員)內地 「お忘れにござりますか、年寮で

はめ、この談十日

てある蓮や、聰の穴や、屋根から、いて、過去を記ひ、この後を認ひの下へ入つたが、この點さに離れ に訛らひました。寒へは阑手をつと、年養は身を照めたま、屋帯 しました。梁、山吹も仰せのやうと、年養は身を照めたま、屋帯

手元に第一統合化せられる、こ

らだといふ、さらい。角度から一選る隣の光りを見て、暗然と、そしあひました。わがずたちへも、多 こへ生つたまと類く随も上げ得な一年の父らしからぬ行ひを謝しまし あいさつすると、年景は、はつ あもつて、 召使の い選をうるほした

をりまするの側 る年より、年貢 いたくに促す金

たいと思い出しまの功を質し、貧し

進見 呈本

を戦べていたなき

i Ş

ませんの

お申込み下さらばすぐ 詳細説明書付で 詳細説明書付で

まだ私の心は、

化は、極東に對する認識不足か

業

で解、あの火災の を解、あの火災の た末、恥をしのん 0

一般に、何を求め

るのもが悪の常然です れた実肌に自然化粧が 取ぶまゝに美しく仕上 がしたがれている。 新する競戦も高級です がの色素が解源可力が がの色素が解源可力が は就し下さいませ!! 戦地な使用窓を営事共 のででは、ニシングの はせる権な 3

柄節時 特に て白せ白汗 評下: 網: 版 焦: しラ噴と好: れでせてソケン しのがもずもル





11

(126)

門指統投表

【高松電話】陽山縣下における念 | もに逃 げ散つ てし まつて、縁に は、国の間や製の方から、われ勝 謳はつて、 花 治 ながしての言葉 潚 作 お関

日起を終へ香川縣趣祭に赴いた日は、親鰹がたと一人取り廻されて「何か知らぬが、 あた。 表のはうで、 その時、 身にかなふ程の

と、また主の撃もすがたも見な一た。何か心にかなる時にする大き 規憲は 初めて 大き くう なづい

ニキビや味出動を構成 けれる結果・腱に難して が気管腫が自然傾に難して けれる結果・腱に離して がきますとなる変き す奇態に高ります。 2

衆院を通過せん

既然の應度決定は前市、農村能理、第1代版士館を聞いて厳証を決定し、東京忠語)米駿送祭に對する民 これに懸するとを明かにすれば雨

民政黨の態度決定

て吹車場に職んだ松鹿に燃え移っ 殿因は同家の問居人宋盛秀古、 分草屋根全部を堪いて頭火したが 四二五崔在明さん方から極火同州

四人の馬賊

その間主さして獨逸最大の新聞社たるすることになつた、同記者は滯獨大年

ルシユタイン紙の記者と

間にして本社は社員名取洋之助氏を派遣 ・夏ドイッ的林に明鑑される第十一回オリンピアクケ

高瀬襲撃 日子每二時半度中北岩面署是

來る二十七日は海軍記念日

一粒在所より学星上流の影響範囲

匪賊團と交戦

のもあるので詳細不明である、簡同難動は大正十年建築されたもので限因は梁が度朽して勝落したものである

り自下激出につとめてゐる。午後二群之に翱崩したものは発養五名。重鋭著八名である。その他駆けつけた父兄が想いて連れ続つたも

【光樹竈館】 - 八日午後零時四十分鐵全南艦光部総光キリスト数職経營の勿能職で授業中、突然天井が墜落し、餓兒は何れも下敷とた

判明の死者五人、重傷八人

中江署員ら大活躍

その鋭電を開いた附近田武上りの概を受けたので我方も直もに膨脹 中、膨胀王直服の一並王両居の第一中、膨胀王直服の一並王両居の第一

蘇聯兵

の化量豆

型岸低安藤第四届日馬迫路を巡察 ・ 1000年

航中の滅人高瀬州四変と幾山部登縣大霄護江岸で馬越四名が折極下

温馨中

記域静山で観見された豊正不明の一味を真ってあた、所持品なく

身元はなは不明

0

死體

数を振び難械、約百圓)を開葬し 蔵人船天十四名に運搬させ奥地大

水路所有の高額州

鐡道局のボ ートレース

両村小学校の所包地まで来て披露|総道局では十八日美江でシーズン

de gebeure de la company d La company de la company d

名取記者を特派

満新な報道と卓越せる寫眞

在獨六年ウ紙で活躍した敏腕記者

言報に接し長城署長間巡査部長以

温騰域に急行し、変載一時間の後

ル各及び土城駐伍所践三名は即

一名を難し、三名に質問せしめ

子における難順軍不透過路事件は

蘇聯側から交渉開始の確構である

五家子事件で満洲領内に残す

せざる機構であるが蘇聯側は面質 その後蘇聯側が後退したまい職大 十八日某所省電——兩路倒塩五家

それ見つけた

の主人と京域舞り立で記人を授り まれた、風み竹融に強した李は宿 宿人のために甘七個人の選口を監 一、が十七日 仮十一時頃武器中間

合宝で揃へた、この男は平 里一四三智生成ったって逃げ離らう てゐる四十八日午前三時頃回顧待

とするところを西大門署へ突き出

火遊びで火事 日午後一時十分號京城龍江町

一類路 に消ゆ

十六月午後 に選集しあり、之が引渡しを近く 北流州郡清州呂本町布水西季島季

障地占據の際、死體二個を菌領内(京城規度町鑑泉底館に信泊中の思

衛虧運輸、清水工務兩路長、攤配

| 義州間の交通数和のため人道橋と 事に選手することになった、なほ この結果強道局では直ちに架橋工 株定來月中旬頃回答して來る窓で

幼稚園

で授業取り

して一般の進行を許すことになる

現在の鎮機は新西坡工役安東、新

肌の運輸に発支へないやら網路を 機器であるが、特に有事の際は別

施設を存置 し、スワと

五ヶ年計画で新設する野雄江の國合年から工場約七三萬國を投じて

語本語政計を 選げ正式に 前五時十分頃宮城菱礦落行貨物列 で変現中旬城回答して来る語で 東が食洞、清頭里間で身許不明の である。

現在の橋はそのまゝ人道橋

福緩側も大體この計画を承認、幾一當へは新鮮用橋合せて五本の線に

に隠して残る一線を敷設出来る

る間壁として安東聯と新館籍との一列電をどつと運動する計画である

ら丁寧を進める豫定であるが丁寧 は蘇外に困難を極めるものと憧憬一を要求する密で、この南部山岳地一全族の脈散をすることになった 出し測量の完成に伴ひ四ヶ所か

一路院する技術者は形形トンネルの 戦を必要とされ、特に師道省から征服には我國トンネル辨箋技術の 山脈中、竹橋、白寒山の雨天陰の 上事に従事 した徹威者 に大十本延長廿八キロといふ鎮道

鴨絲江の新鐵橋は 一架設する 本は將來複線可能の設備

東上の新別野を出すことになりこ

東高では苦心の濃塵飲朮を行ふと、卵丸別乳の完一次記逐戦を即にし
連島では苦心の濃塵飲朮を行ふと、卵丸別乳の完一次記逐戦を即にし
サ上の新別野を出すことになりこ

ス ビード・計戸観 **差行ふため十九日午前八時龍山**

驛手の自殺

八日午前零時五十分獎戲館線雲

全線に六十の隧道を通す 彈丸列車

型機関型と連結用版用罪、軽快要 旧単の三層編成でスピードの下試

にする哲である。 度で龍山、成歌八十二粁の間で 後成骸に至り午後二時間襲縮者の さんが通りで離んであると契格素の行方を塑査中

|蟾々手金兀猴君(だ)が微臥したま。て如女の行方不明あり四月以來本||瀬縣篠内で羅漱行急行の通過後間。町警に同け出た、前最近敵々とし あとで家人がそれを知り驚いて本 自敬さんを抱いたまい変をけした ん切を買った廿五六歳の女が楽で

タクシー=巡院子洪趨谷=が京坂四時頃京城茂江橋征出所創で渡江 はね飛ばす

十八日午後

| ABJ | AB

○京城美事▲同固定席1京城号 オアー・京城工場三・○

咸鏡線修事に

七日動跡を終え午後四時一選外出したもので緘路にスリッパー自殺と見られてゐる 少女を攫い逃走

ける黄金町

半島中部を貫く新線

班百名で測量

丹那トンネル經驗者招聘

醫學三・四五2城大豫▲同固定 期二月五十月五十月五十 150 H (21 張3題信局▲オワシボート (ご) 盛1 戸城慶里二・一四2戸城電

滿員御禮

謝近火御見舞 京城 支 社 京城 安 社 京城院 30年11十月月三十五米地 京城院 30年11十月月三十五米地 京城院 30年11十月月三十五米地

○○米)1器譯想2种基伊3萬

三死體 ボカリ浮く

場會

井四五蔵の女の死器が浮上って 十六日午後三時半頃復江橋下に 京城渓江にまたも濱着死龍三つ 超滿員謝禮 目級らしい▲十七日午後三時頃

マョネーズ

京城に少女の行方不明續出

ア東 モスコウの 第 ラ のの 管 ン 道夜 社成團

十日世延期上映

謝を施行中列車の選連をとり終す。 鐵道局その他聯號方面でその殴行明和九年八月鑑賞機清鐵、新北灣。 計園の類金を貫護され版単整部で

重く言渡さる

たの規定外のスピードで連載、第一を注片されてゐたが十八日午前十

川級強上で段級競響し三名即死、

一時豆堪從遊法院他田數判長係依

夜關士 底北城 常日本町高根寿 一二

の要務上過失事物は一番で七百八月)の屋告された

七十餘名の資儲者を張した隧道局 | 田娥母立門で開廷、魏特長かい郷

時名語と音樂(大)日本兒及在留外國兒童《大學二五日》(一年) 學会學 圣德英語勝區(東) 索索 圣德英语 (東) 大學 大學 八時二〇分號領(東)大本 八時二〇分號領(東)大本 八時二〇分號領(東)大本 八時二〇十十年 1516十十年

金般天氣豫報

みよい

る水楽

| 微症の内胎人風で、墜落の鼻め響| |後二十四時間にを謹適した二十比| |と二十四時間にを謹適した二十比| |と二十四時間にを謹適した二十比| 大門密の小久保鑑量部長の駿内で「である頃からみで多分十六日の上、死曜については十八日午前零時酉」の死か自殺か戦時しない、登山委 忠南北(和強く) 下後雪 開始の風雨が降った

部蔵北一東の風の窓があった。 総百原(の風) り止んだり 破南南(北東方)

い方ですが其の沼岸のみは墨い方ですが其の沼岸のは飛行ない。一種では雨模様となり、近風では雨模様となり、近風米 **浩留して七四八年を示しこ** 黄河下流に在る低気懸は昨

旧林到着の後はその衝新な報道に加えるに卓越せる腐災を ベルリン大震の實況を受望者各位の目前に警罪せ

龗田で**渡駅の途により本歌上において各位に見えんとしてしめる部であるが、原氏は近くエルナ夫人と共にシベリア**

主催 到 本 2 出し七七 関本四五・二七七 関本 2 出

朝田海上火災保險縣一京城 支部 京城 支部 京城 支部

大月新設サ

题 **管電社京城**庭 整 **管電社京城**庭

アロムビア

^烙廣澤虎造

高居瀧三郎謝近火御見舞

就近火御見舞

植村外科病院

謝近火御見舞

刊大陸

京

_城社:

京 劚

謝近火御日 三榮

謝近火御見舞

チリン 謝近火御見舞

黃金

⋴庫

乖

뭬 4

イ、安

職ムゴ業輸本日 所張出城京 町駅城京 の施語本地

は胃腸をこわされ頂痛薬

總發賣元 息のたんせきの ぜのたんせきの 般たんせきの 贬 市 ある 全國薬店に 東 丸 石製藥 Ent. 金金金 合 種 - 五三 ++ 名 額 图 錢 錢

韓殺されてゐるのを襲見した、一旦下宿に圖宅し同夜十時二十分一を揃へて置いてあった點などから 設定一室側扉の見込、殿因は本町 年間等質問題らの活動によりこれ だせんとしたが消防酸。太町署、青 火の題り草く耐豪を全域職家へ延 過じの丁基から出代、コールタ 四八石田建築松料店(經營章 強ひ止め同十時四十分震火 初め版を思い依頼があつたので

閣靑來社報日

の男の死機が流れついたが何れ 人が超晃▲十八日午削九時頃に 人が超晃▲十八日午削九時頃に

ガイキングに 薫風の

アボナ

1

製

脚欒の

食膳に

萬年噴霧

器

個六月二年間與行猶豫(本所繁回

記 取

をは本社の誇りとするところであるにはウルシュタイン社が撮影では時自由に 同社と特してある際、氏は随時自由に 同社と特してある際、氏は随時自由に 同社と特してある際、氏は随時自由に 同社と特別のが、特に今回の光質を表にし変深く、特に今回の光質を表にし変深く、特に今回の光質を表にし変深く、特に今回の光質を表にし変深く、特に今回の光質を表にし変深く、特に今回の光質を表にしませばない。

重量と極東西行を共にし 安宮院く、特に今回の光的姿な馴覚を見れても、個人的にも同識が部と記載の間所で編

的に認められてゐる、

特にウルシュタイン紙と

有すると共に富眞技術については世界

京城地方(今晚)小雨(明

會

祉

豺の復讐に

部落民法の

権民は大騒ぎを滅じてゐる

殺したからその後間であると

焼き殺した部落に

現はれて散々荒す

議博 別和製材所々有親和丸の機 ら三、四川北に腫れた古他(今は

關長溺死 酔ひどれ機

質話:近州邑東公園の北川町に面

ピラ別遊戲を組織し所内一個を能 分に困つてゐる

三一郭奎樹の長男野斗浩(こ外廿 【平郷】末恐しろい廿六人庭のチ

府四十次口里二

製されたがその被害額は 働き此を大同者に数珠つなぎに に達してゐる、なほ大同署は

チン。ビラ

大同署に數珠繋ぎ

係員が處分に困る

好年は去る二月上旬頃チン

個しながら八十六代のスリ影論を

紅匪と交戦

三名を殪す

四月以来エクテが出渡し継が舵を一五日を交もやヌクテ年が劉米して「年曜」大師題館出面配轄単には「で焼き殺したとがあるが本月の十

要といい時、輔の名も崩れの果果一乗線の取譲べて顕線メバイの螺旋「鰥部組女饗技は原補部目の結構で、てる名祭技と説的を受けてをり取が蠍部構攻線(校をあと 半年で発)しかるにその後はしなくも巻天蔵(をかけられるに誓づた、側も北年(あり、スパイの途域健康といはれ (製)の(花)(盛)(り) 一錠南浦だより

ヒロイ」た先房の鍛金炉といる黒褐天炉の「たす!〜日本車へ舒敞金を敷れと「が散兵骸と湯湯國々防衛に鶴長将「兵骸に添押され、数ひ出された掛職棚の」へ連れて行くと言葉項に言ひなつ「を掘つてゐたが、その都度失敗、」の手に渡り、右の事態が戦勇、わ「狸鐸、黝押經喪金逆大衛も拳天敵

引込み入れ進ひに他の男が現れ十 若都がゐたので手渡すと家の中に

早合版して品物と釣銭を持つて行

と、岩城県の門札もあり出口に

の空家に今日引越したのだららと 出の隣まで届けるやう電話で在文 **興札で支掘ふからカステイラを** 常盤町四丁目いろは堂菓子匠に十二折拳蛸)十六日午後九時頃府内

爲替を添へて平壤地方法院へ降参狀

也

ンスで終始の喜劇

晃 平松 및

うけたので店館は湯田さんの輝

明分と釣錢八圓を大至急二丁自湯

を訪れ松本さんは来てゐませんか

と尋ね、症臓の膝を鋭ひ肚兎の如|罫腸横竜を動便小路暫にして法院 四礼を出すとみせかけ、韓の晋田一頃はすことは過だ相談まぬことで

、脊髄の中に逃走した、サテは非 | 宛に激り、回端に事を解決した

して國際スパイの鎌疑濃厚となり日滿軍警、國防婦女會の大活動となつた事件がある【擧天】日滿支親善の筆と傳へられた支 那 人遊女をめぐる國 防婦女會と皇軍の佳話が一轉

暗轉して雲行險惡

費り飛ばされ三年間造げ出す鬱鬱 | 風朔始女闘・屈げたものが正数部 | 花堂の女鹃も瀬氏隊の手で奉天へ | 観を设けてゐたものであるが主歌の程花堂の選女屋に七百重で | の中に助けを取める手観を封じて | され、瀬部郷と師腹と見られる程 | 適飛員に挙げたいと徴失ましい話| 種手にかくり新見に連れ出され会 | の重動が起り日本和、激ら動闘を | 田美奈子女史の過郷で引事数ひ出 | 歯の主殺語数は経ら半進を日本と|

うきの排日學校

彼女の出身校は?點濃厚

用し他人の総札を使用したものとしりこの程平原地方法院に二十一祭客に急報し調査の結果卒業を利用が刑罪里一四一線永國を相手

南州武井里一四一線永國を相手取

はそんは整いてその階層名にた してるたところ公押期はか上六日 野ば 産港の肥富もが悪くてたらたち 早期は遊覧につなったが悪くてたらたち 早期は遊覧につなったが悪くてたらたち 早期は遊覧につてなたからなから でお上の手を頭はてのは着許すな 野様 見が死んだのは変の分娩中核が でお上の手を頭はてのは着許すな 野様 しって死たおめであるを放く機打し 十金の整便小洋書が開封 て掛け 優に た。慶られた私さんを最大して「秋次された 間に 対に倒する損害賠償を請求した「秋次された

や分娩の陣第に喘いでゐるので ○ こうこここと版門」に、これないのであららと意思

してるたところ公物野日が十六日 これで版、被形が法廷で争へは相

一所內西城里八七

が元里は銃

かり同智で迎人殿鎌中

原告体さんのいひ分によると原一

信がおけぬ

永田女史の談

老木の伐採が祟り

五名の男女變死

清州大成町の獵奇異變

部落をあげて大變な騒ぎ

掉尾を飾る

感激を織り込みて

夜まで祝賀に酔か

を飾る個し、公立中學校会各成式 は十七日午前十時からの安滅祭に

異態は老末に答ってゐる誰だ。可解な病気で腰であるのでことを設け現在また数名の村人が

刊歌のご言世(代から村の守本章とUて年×奈匹 日清刊)迷信)の老不は大成町任民が相當古い時

及すると共にその母元を無調館す はないかと記み、刷版者を厳重追 ラージュした大戦な軍事スパイで 憲兵隊と連絡、苦心の未敷出める手紙を見て公中領に並行に見る那と源で綴つた敷ひを

憲兵隊で身元調査 置者の怪振舞 傍魎禁止で

五日午期十時半から伊藤森利長屋 公判を開廷

きづ鰆の豊漁に漁場の殷賑

大魚群回游を待つ慶南漁船

夏漁船

本天の春祭大脈ひ
 造することにしました。
 が年外大脈ので変女が通気中電器
 中心とする治様に鮨五萬尾の水場であることにしました。
 が年八月以前人間では一次日後行で北平へ向ひ号元を割また場所であるため傍壁窓上・印窓五分間では一部に音訳の姿とあった監房近海は上が上が、東僧は一部に音訳の姿とあった監房近海は上が上が、東僧は一部に音訳の姿とあった監房近海は上が上が、東僧は一部に音歌の姿とあった監房近海は一切が見かれたが、東僧は一部に音歌の姿とあった監房近海は成りしました。
 第575世末とは位としていることではいます。
 第575世末とは位としている。
 第575世末とは位としている。
 第575世末とは位としていることではいませんのでは、

いたり突आ経院動を一るのも近しと瞬間右鎖をじじめ液 して怒れる神を鈍める(く厳かないな)の動。アジ、駐の国(てゐるので鉄路領域を呼びサワー射橋長は住民を代表して上五日のの観光 アジ、駐の国(てゐるので鉄路領域を呼びサワー射橋長は住民を代表して上五日の

し綱名の他一齊に當業者は腕を悪祭気を執行したがその後は新し 高減はその現場×甲古木の切様 記者も出ないやうになったと

> に繰り出した假裝除興隊の影覧の 【仁川】 小玉、大の剛日祝賀の街

伊藤久男の夢

上川の祝賀

夜霧朝

千霧代

【戲興】腦內本町五飲食店養菜裝 爺さん自殺

では小丘は数数を不穏學生引致

か思想関係の事件らしいと秘密理に何事が取割べ中で見れ、李起紛(假名)三名を 稅務辭令(十六日所)

州府務監督局在動を命ず監督局技手・大津洲書(清津) ◆----【顯南浦】全











務課 長、江西京中校長、和田第書永知事、大島内務部長、木野島

ともてた後の天涯を翻帯でかくす 皮膚泌尿花 醫學博士渡邊晉 松柳病

下田夜 丸ば 九曲 液虫殺出抽螨虫除用庭家 **汚臭附介** 無色透明 将大でりと蚊 番一めき 喜雅 州紀

ろだけ買き

後九時落成式の一間の行事の様々 際の侵勢功能職が投展に繰込み生

詩•二宵田保久 曲•幸信 岡 竹

籠拔詐欺 空家を利用 一芝居打つ

頃はずは相が申えずと

助けられた遊女は

きスパ

金満に朗話傳ふ親善劇

者の二部人を整人機関(野上里聡学研集へら)方から出穴、火されるので、機害に 人であるので、機害に 洪原の火事

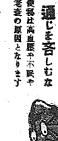
十三月二十九様を全機して同日午

第一時に活てたくめで李在婆の家金融

濱聯專件審議

青春の歌!

命惜しめば



城井耳鼻叫喉科醫院

温量

協つて来た少年時代をに用、京

世校の古賀氏にとつては

故郷に除

文古くはコロムビアの『酒は涙か』

城に送り頭に京城菩薩西業學校が一友人連が古賀氏の成長をみての意

に歸城した古賀政男氏は語る一餘年振り

のカタリナ思では海流生活 重夏の風、カリフオルニア

に最近弓術が非常に

弓術大流行

えらび方な

加

●) 眼の悪くなる時節(●)

連作

カヘシマス

ネホケ

けになる場合、更も角、眠の衛生||小さな||破鏡を掛けてあたり、

カが | 長の方は丸形。細面の方はやト層

間毛を心臓でかくされ

カクトコロ サクナッタ

鼻の部分を細工したパイプリフデ

テクリジへやる様チャッカリして

から、下水、西井戸等は云はずと

空鑵の中でも發生

府

生課

よせ滅撲らか今は蚊

Ø)

水溜りは

時には便秘します」7、お乳が不足の

ほつてお捨てなさ

て、良いお乳だ、思いお乳だ、ヴ

な残した時はし こにお與へなさい なれば右左交 が便秘することには気のつかの方一でお乳の機管をしてもらつて「グ あまり役に立ちま

て、人工競技にしまうとご相談に

e組乳が出ない、交は別いと云ふ

たないのを好む方はふちなしがよ 起版の春は、ホワイトコー

ごんなに努力して 20)人工豪養法は

國連進版の途上にあるわが四、シーツ の有難からぬ名前を頂き

(ロ) 郷め方は乳島の硬膏 (ロ) 郷め方は乳島の町 (ロ) 郷か方は乳島の 町塩二の1945日以り 町塩二の1945日以り 町塩二の1945日以り 町塩二の1945日以り 町で1、はいけません で育て入ばいけません

その方が、極めて理習的にも見す

風流茶の湯

先づ身體が健康で ても出ない時には

は語まらないと思つたか、どうか。 つては命が無くなる。さらなって を切ることになつてゐる。腹を切 さうでないと、失敗した時は腹

乳形を選擇する場合には(1)

自分の子供と乳味の子供をお探しなさい 性質の善良な乳母

間の前に出るつもり。

と足を埋つたから堪まらない

ナナアツツツ 炒點事

10

マユメキノ

「ハテナ、これが、今日虚形にな

スルト、先に立つて楽た下寸小

器の異価を見て働く発養機と

五六歳頭までは 電影三位、 一位で通って 🕶 日本學校

の質認度のヘーブエ版圏「総所わらと本部系」と意見 潤澤な 外線に







太らないことやよく闘らないこと

19、母乳がごうし

作曲家の惱みは一

黑なまづ

「問」 ニテ月初からくびに黒なってゐます し之につける薬は往々カプレる人 瀬戸病完長

Fハテな。場所は個に此處である さへ見せなかつた。 を見廻したが、交兵衛、六之間も以 らはれさらに楽しい。 篤と見定めて來るがよい。兩人 二年は、官兵衛の前を退つて、 遠はず、狐狸の悪戯に相違あるま

普通の健康な児童ですと、例へ一少く、

築養の親は何か

反して、影響が軽く目光の少いと一貫つたものはピタミンが弱いのに

の。庭園は築道で

また、乾燥した

日光の多い所で

るをしてるの

いることは申す

子供の大腸カタルが

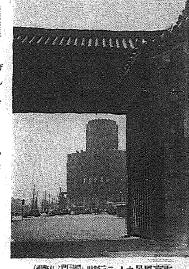
月下小學校五年生で通學して

画だしく、殊に遠域は態として「砂を纏して居りましたが、目増」。ロールといふ波分が、できょンのルを積みまして、傾倒、肚吐等、せました。ちゃうとその時は健、「何故なら、没得中のエルコステルを積みまして、傾倒、肚吐等、せました。ちゃうとその時は健、「何故なら、没得中のエルコステルを積みまして、傾倒、肚吐等、せました。ちゃうとその時は健、「何故なら、没得かのエルコステルを積みまして、強になり、とのとりないと、完全なる生態をして、大きないので、明一音にはいい。というないで、明一音にはいい。というないで、明一音にはいい。というないで、明一音にはいい。というないで、明一音にはいい。というないと、完全なる生態をしている。というないと、完全なる生態をしている。というない。というないと、完全なる生態をしている。 軽快して元氣に通學 「盛りのお手機には必要で、若し日」が入る」といふ 有名な 緩か あり を造り出するの紫外線の刺媒が不 してゐるので

莠換引贈寄図掛 掛圖一



優秀な教授用 小學校へ寄贈 に一掛闘客贈引漢字」「わかもと」一種優



交兵衛が、例の如く、木の技

江 Œ 鶴 美

幼見と便秘

(祝野リュ門耳幔) | 脚行ラメカ景風京東 りひきつけたりして度々小さい生命を便秘継のある場別は、直ぐに繋を出し

賞を丈夫にする。河軍(一フ 二型流 「避 をと前離に、不知不識のうちに千典の強 の 一郎 一郎 重身の力で専則正しい短地をつけ 南わかもと」を用ひて、便秘版シなにす。 のが、一番安全で「職質な 方法で ありま 激してゐると、腰の忠誠を疑惑する赤り でなく、温励になっていよく/世世を心 くしてしまびます。 脅かされるのでありますが、その都獲品 るんな子供には、自然に 脳の 帰能を 風 語の起題を賦得するまり

のつつコー酸に人種に必要な多勝 を採の産業が家まれ、酢酸をはじ の金質和働の番原代源を輸んにす るので、な感が聴感となり、薬品 の電び、繋が、値力を着し も過せる上に、同じく酵 ※の1つであるリバーゼ は、新菜酸を包む違い等す

近ぶ見に

る結核園

用を助けます。 ために、数なと順脳の二方面上

見重に特に御注意 の集團生活に入る

栄養さ 2 食 物。 0

2) --

關係

ら苦痛を自變しないもの八三名。

に高いのでも」で、「松木」の「紫珠寺は小紫児童に 路べ」

もの二二五名、その中病系の混め恩児薫八○七名中、娯楽せる

これる小型見儀も、その関上

このやうな設備でも、野 | 米ます。 このやうな設備でも、野 | 米ます。

ることは申す | と水と月光が帯はねばなりないの、うして飜ける | は、脳のですが、これは膨胀ガス らないと、現化作用という るる無で、順番はこの栗に澤山舎 香入司で、もし日光が書 と、整養棚総の総合効果を持つて ある場で、東京棚舎の総合効果を持つて ある場で、東京・ の摩っ大きな物質は温騰が通作形 ものが行はれません。例へ 脚も内部から便語させ、またその まれてある酢素が働いて病療過郷 一節動わかると、の主躍へして

含む築養素は人體生活に必要な各

細胞賦高作用と相対つて、日光浴ビタミン川もありまずから酵素の 配に亘り、勿論鱗もカルシウムし

ある小型校に通ふ時に既 人生第一歩の集除生活で

区形れるのですが、

の効果をよく内部から果ずからで

な役この ~ 能利わかもと、は東 な役この ~ 能利わかもと本舗 京芝公園大門際、わかもと本舗 京芝公園大門際、わかもと本舗 の言語が一旦近入続にも當らぬ の二種が一旦近入続にも當らぬ のごころはたる書きな あります。

昔から『日光の人られ家に踏者

對局者の言葉

健康さらな胸をしてゐた。二人は ミサが河むと間もなく貼れ

シャプドレエヌ家は町から十二 離れた一般家に住んでゐた。

力で膨いてゐるロランゾといふ若 い甥を連れてやつて来た。彼は優 近村のシウルブルナンはアメリ

は松客な顔を不安に曇らせてるた 女を想つてゐる隣家のユートロブ

女に取って

が、難い

振る

と

高

で

の

は

止

脱

に

無

言

を

説

で

の

に

に

無

言

を

説

で

る

た

の

願らしくなつて郁かな美しい 腑と マリアは無く見ぬ間にすつかり 表し振りで町へ出て來た。そ

戦は馬鹿を走らせて、此のベリボ ひに取れたケベック地方の歴民選 つき、解けた国水の滋味を吸つた は先づ巻めいた四月の太陽に元気

ンカの町へ樂まるのであった。

と悔機との裸に彼女は死んで行つ

といふので初日まつ講 ◇初の来城で人類の虎

世親の形式の日牧師は彼女の忍

るる。何一つ疑つてはゐない。吾

ク地方では何物も死ねべきでない の節・一あのクライマックスを所

◆獨特のあの節──何と名付ける 断くも京職に足を観んだ人々は ファンはまた雅えたことだらら、 何所となく聞かされた











中野かほる。新見映即、建珠子夏寅、江川なほみ、國場大鶴、小宮一晃、原作園本部を作・監督川手二郎・原作園本部、小宮一晃、明興キネマ郡代劇郡特作

モスコウの一夜

たで 白五人のノビを利かす事が出来 「白八人は太手」 割に五世とば・シーとを買が設施 「中八人は太手」 別に五世とば・シーとを買が設施 「中八人は太手」 したのである 「中八世を利かっては黒穴五とト・まてる「か十六」 アポはなく、黒六七となった形が、戦ひ得ってある。

保護子・吉川海子・阪川桑子・大学生と與太者

| 「一日本の本」 | 日本の本 | 一日の本 | 日の本 | 一日の本 | 一日の

安康五郎監督・滕岡林太郎・川島・福里提供現代閥特作・第リッ子・ハリー

む 日より五月十九日まで

- 東時間要

40





大人氣で盛况 有田サーカス

一死であつた。彼は森の中で風にや

の要にも交その次の春にも決して

白也處女地 デュヴィヴィエ監督作品 ジャン・ギャバン主

スは初日以来書の論題の歴況を指 京城訓練院に開演中の有田サーカ けてゐる、一行中には大衆、山羊

主張曲目 東側置の入船 ニュウ (計1の) 1年 (1 の) 1年 (1

着 草 映 画 劇 場

全島

安住の極樂國土とする

が中央館

ロイトの大勝利

75

「なんだい」

栗 計 (黒 二時二九分

アリラン第三席時所全部摩(和文字率坤人)参生由一仙主演

チーム戦は總督府

全鮮實業團卓球

があるよ

社會式統餘石舍進共阪大 領本

行くのにも可成り歩かればなられ

遊び度くなった彼は仲間の止める

頭が痛いり

藥大住安戲 仁太 w 太

ら飾りて來た時に』マリアは答へ 「え」、お望みでしたら此の春で一説しても離果はきつと彼の語に引 い次の者にみんなが酷時に称かしきづり込まれるだらるし や次郎長、石松を踏らせては他に き締める所は上二分に心傷である 付けの姿勢で日だけを動かして演 ◆駆をいふなら小量の限まで装膜

をふるはするう一息の問題を望む

歌ふ彌次喜多 の紹豪革版!

日本產業最高賞緑綬褒章

嫗、蚊、蚤、南京虫 油鬼を k co

會 裳

社會名合納嘉

PR 41

の座右に薦むるに躊躇せざるもの

し得ないのご近きにあるが

の一話一言、 悉く人生の心眼を開き 處世修養の道

ひ社會を教ひ國家

書こそ自分を教

を数ひ世

界を教

肺病は治療

る も の

病の本道を設く搬正岡病配。 克服した質話四部を批判し、顕

輕高田

重正

語は平俗容易にして、盛るに高遠の理想を以て

、一頁の益あり、予は近來稀に見必得を説く。讀む事一行にして、

予は近來稀に見るの

見るの好著として、一行の益あり、譯

痛切、説き得て深切。

人格的鍛錬とを併せ得、今日の大をなせる人である。

今『生きる力』

拮据經營、事業的成功と、

新潮社々長佐藤義定君は、身を貧寒に起し具さ

德盲蘇

人生の辛酸を甞めて、

卷に豐富なる體驗を語る。收むる所二十餘篇、各篇悉く題し得

いづれも修身齊家の活教訓ならざる

を四出づ(総計製)を

(透点裝)卷二

|(競热機)卷二(競热機)

ラ い の **物** ク 断 配入 に * 白 り

の作人に取り批政的基質困難とされてなる感報期交社から終く領域・協議の国際を目標を入り基礎国に関連し国际に予究総督所放定基文器学会を維維したよってよる定義(国際教会を発見本語学)

▽社会本 總タマースよ・松下三冊「龍楽装飾み」解像が復五十年、5万年日、1年、2014年、201

學校的無

界鮮

唯專

の家 指諸 導氏 機執

關筆

(見本進呈)

內堂

部旅

新撰

教科書に採用された

一町保神區田神市京東 番五五五一三京東春堡

最

毎年、本数・三六四章 原色邮料系及地画二十二章 定價一圓二十二章 大里画等二三二章 大里画等二三二章

る。だから、この書中の一等福をつかみ得る實際的の生産があれたの空論は 一篇を讀んで、の生きた訓話のみてあ

く自見

は聖母な

花言葉合戰(意識)

ったと喜んだ人がある。 別社員の心構へが分つて、月給がり出ると思ひ止まつた人がある。 T

來た父がある。 妻がある。 放蕩な青年が改心したと感謝し

だ人がある。(後ろう)

問基間讀

之が日常生活に生きる方となる。 された文章の中に、蓄者が萬人に幸福を得させ えれが本省の れてある。

▼味ひ深い、身にしみる話ばかり。 此の中に語り悉されてゐる。 何人も求めて已まれず身・川で書は著者の旅班なる鬱朦から 平易で、 がも直ちに

からして幸福が摑める 歩み得るのだ るの 道 0

櫻井忠溫將軍日

真操像約を批判し

大美子

外教員の立場 交間

A子さん。 個 はんだらい、か…細木盛枝続端のいね)蔵田周忠 製造。 茅野雅子 紫雲 小學校訓導數氏 ダブル・リレー・ローマンス る。漫談家、慶臨家、新進作家の簸簸。 語りが、途中で二つに分れ、二つの結末をつげ 雑誌界始まつて以來の珍らしい試み 一つの物

畑呈の大懸賞 始めて音樂會へ行く人の爲に いために是非一體して下さい。
音楽會は立派な離交揚です。そこで恥をか 民

男 0) 一生

松本惠子

女の日記林芙美子桃子の貞操宇野千代

美しい温血の乙た物光和一、里見れ

證載

ラデオのお友達…・杉田干代乃 国 想……鳥居綠子植物と女性…・牧野鶴代 おき女性が科學的な研究に一生を挙げてゐることにその研究の成果が示されてゐる。ことにその研究の成果が示されてゐる。

抓約

の研究

維着になったが子供を忘れかれて整み出した。
本は、おいのとの様々では、後に、子供と同じ年前の男の風を間し軽指に、よいでは、またのは、ないない。
とつでは高い栗掛であった。
やはり子供に、ないない。

が野男子 中マ・リウー

隆八 郎木

ひとり子を圍ん なぜ結 八路子の離れ 小山喜勢子 短真相

題を投げかけてゐる。。間題の漢相は、現代の ないか、環境が整

勝美

娘(娘の心の隠しい」面を持く名で、森田田(敬母の自由を羅睺に敢く)山川田(敬母の自由を羅睺に敢く)山川田(神代の武式を現る唯一の手引書)杉山田(明かなに難する風の襲情を歌く)里、月 た菊平 ま榮助雱

部る日の資本語影響

る 若妻 (原格を学く原本氏の絵画・思想の) 流 行 の原語が知識は一般の主義を知識にある。 日本 は の 流 行 の原語が知識の一世の言語の の 流 行 の原語が思慮の思慮にある。 たいまった。 本法な力はこう は の でいる これまなり に の でいる これまなり これまなり に の でいる これまなり これまなり に の でいる これまなり 鳴勝德島 中本富崎 雄二二藤

ふるさとの若き女性へなるさとの方かんこ…上司小劍

六月のセレナーデ

活…島崎楠雄

で記録が切めて世

もの ひ自 郷愛

花

佐 子

原案通り可決確定と

型長 十八日東京 (元同志此大學總 (元同志此大學總 人日韓京

学士院館の職上へつ教授は歴史をリッチャノの領象思書と は我々の腹側に

矍

公債法委員會

サヤノフの形は最近、東上、東上、東京の関係をかいものであると 0チカヤ酸の観測リフランツ・ジョ

開始教科書難問ノート

| 定價三十錢(光)

年の 数學 震舞 國

誌雜學數別年學 二年の數學 數 學

らが最も有効です。六月號と併せて御柱文下さい!各意四月第一號は本紅に用意おり、御愛羅は第一號な

を北に移動する事 ▲空洞が地球の選

とが分つたる

田島氏の米穀間答

衆議院本會議に於る

素晴しい「一英」丼りになりますよ。さ

後間即第二

图 天風 '三不不不

第三號

月

の貸出の指導は政府に責仕

野来は内地と では鐡道省巻バでは鐡道省巻バー

たいと思って

とは言へ帝國のとは言へ帝國のとは言へ帝國のとは言へ帝國のとなるべく旅行ため大彦當局とため大彦當局とため大彦當局とため大彦當局と

級生になつてからお困 概を固めて置かねば上 でせら。止處で英語を 好きに、そして値り基 を関めて置かねば上

兩院

簡した

の説明これ努む

衆議院本會議(千八日)

ほ内務當局と協議の上遺憾なき

誌雜語英別年學

年の大手の場合の

定價二十銭(総計)

級

一円八十個三十個

をおた、近く では就住し古城 であれた。古城

年の英語

関がいる。

して形成された固なのである

芸蔵域の砂金銭が人行ち頭に続た

てあるといふから豪勢でもの一般したかり没何敬に此の上地を自襲の砂金鑑が人待ち願に様だ。 き盟盟の主地を着太人のために閉

文共同防衛の盟約 新疆蘇聯間の條約に次ぎ

ら、支那の量蘇蒙近は蘇幽が東| 聡勝され、その內容は大體次の如

黨の題々たる國境問題、北支邦産多分に持つものである、北端、外

北に騒する態定がある、本年一月

一日蘇麻政府全機代表デエツクレ

ボゴロフ大使と外交部の折衝



造于

館林八百吉商店

服政就是 下盤 別 別 進

合合 此名

矢

代商店

Л

木

久商店

飯田藤七商店

1550mm | 1

糸 彦 合 名 會 社

ラスコ 地面 取り上 足 野和靴袋

育企 献名

Ш

伊

蘕

产商店

加仕年間 メ 立 対 特 で 飛式布片ス

Ш

城

量量

商店

ンド戯曲の展望

面積は和蘭ほど人口僅か一萬五千

常つて白虎脈の尾脇無比に黙破したムツソリーニ首相は記念碑を我

リラ隊のオートバイ



ダンスは津村 觀越後屋

育合 計芸

4

超新申三八八七音

卸古拂着 問样下^被

屋服品

松

- Ш

商店店

|断おは方の外以人資産る限に茶押判店| 但 東京 所 **名 丁 屋 川 信 順 一 次 か か ち こ が 名 丁 屋 川 信 順 一 次 か 合 宮 屋 市 中 區 大 池 町 名 古 屋 商 工 會議 所 内** 機 名古屋蚊帳株式會社 章 中島商事株式會社 1 聚自乳企 動 動 型 車 **カ毛敦** ト テ ン布帳 简数 图型 E.S 森 遼 他第田 幣本 本店 商店

海地足ま 作下袋と 車た 車な額き Web Man Man A 中本店 Man A Ha Man Man 八 木 伊 本店 メリヤス 雅皮革製品 印製品

前田貞治商店

製水は 金 庭 机熔制度 9 数 物用 軽長谷川商店 警西村金物店 部所 組織 Щ 本 橋 **基本 八代音** # 製 作品所 卸雑メリヤス 屋貨

カプト。屋製作所 手袋靴下 佐 藤 製蓄樂 作音器 所器さ 佐 藤商

青山庄兵物商店 能流 木 庙 店

中華所書品 ESK MAN 書の タイシャツ 深 井 宗 助 商店 新 証 商 店

競機久本店 和高 社資 金 基城

屋ル子 商店 商會

藤明商店

洋炭脈屬 平野由藏商店

反戦『年和ストライキ』を取行した(真真紅へ上)マサチユセツァ州ゲンブリフチ大学女単生の反戦

全米學生の反戰運動

此良薬から

有望である、最近二十世順と

門第一優良廉價

会利用されよ **圏端を計るな目的さする関係であります。 を地方の却小質店へ直接紹介し且又取引のる機に過去八ケ年に亘つて優良康質なる商品**

會. 社工 森 山本 商店 基本 市店

八邱高普

郡守の專横ぶりに憤慨し

き出したが、原山将来の平和のた一故で 返 民を受けたので同夜 森田

敢然組合員が起つ

廿周年

父兄同窓會 プール寄附

公立高等普通學校では自例の全校

元成した機式は健康コンクリー

の月除の苦心によって散計も

「商を引く」

部煉瓦建ての飛行機型で總庫

すばらしい大邱測候所

郊外壽城に建っ

となつてゐる(爲良はその正面設)となつたがこれで一時生産業者側

刑んでしまった識である を置つてゐた變態が一ぺんに消し 工し來る十一月上の頃後工の輩定

脱頭に接し近く荷出しする段取り

らと呼ぶので主人が趣向すると「五・六名の强烈が耐入したので露 總物域して玻璃水里臭臭方の表門を叩き早く明 |で関けんとする腰間戸を押り破り | つてゐる塾でけ

水里桑地方の変門を叩き早く明一で明けんとする睡間戸を押り破り水原】十五日午後十一時半頃色。それにば空へず親りに戸を叩くの

水原の强盗騒ぎ

妓生の屋方と間違って

數人組の酔漢闖入

釜山高小同窓會

愛藁の屋根 藁より持ちがよ

に駈けつけたが強「【全山】釜山 西等小契校では十七 が懸霞であつ

忠北で熱心に研究

十二篇阅悉也里入十九篇同加里 第三十四个《西面所下里一〇 第三十四个《西面所下里一〇 第三十一篇日演里四十六篇同频连 五十一篇日演里四十六篇同频连

企側通行すら勵行せず

安全週間で情ない採點

通道徳に

丙

ないと虐待するので張は汚名と連 待に堪へかねて十五日午後二時頃 つので乳酸り酸に脱粉不足を来し十八個匠かりる反面七・八年も持 統年平均三間家屋で十一面五十段 位置するが大変薬をもつてすれば てゐる際でもあり經常的な変異の 「清州」展家の屋根野苔に薬では

會で審議未了の松製里庫立に關
十九日 午後 三時 十三日の府

全泉神社総代會

て否関中を職人に選見され、 子當を励した結果生命は取止めた やきもち男 屋根面を姚剛すべく目下、踏書へ

【水原】消防組の春季演習は十七

一部、 歩行潜取締の結果は道路の不

行は殆ど助行されてをらず、地光 完全といふことにもよるが左側通

は、「大町」書経費では来る十八月か、たら一十二月まで所行の万郎将即居 て、飲・年匹、各豊を指行の影響等が及り、飲・年匹、各豊を指行の影響等が及り、ました。各豊を指行の影響等が表しまった。 と、答案者の戦闘があた。一斉に履行する。 と、答案者の戦闘が影響と一斉に履行する。

官を潜ませ諸単取締りにあたつた

三日には府内の要所に交通政総署一任は週間終了の際想として「仁川

其筋訓練に大弱

り

が事故はなく、に火取締りではな

大郎の接客

ると二十餘件の無処火自轉車を摘一

の春季演習水原消防組

ト僕の服毒

内西門内の銭食瓶營業都丁用九〇 女房を刺す

審議 ▲同日午後二時半 第一教育部會 を開き第二部の右に同じ二件を を開き第二部の右に同じ二件を

を施丁で聴ぶを刺し資謝せ上め大「千九百二十一圓を可決したりは悲劇態煥元。」何れも假名= 毎度原列を総議・原梁の路線集合・十四西門内の戦奮院賢業衛丁朋九(4 【金泉】金泉神池では十七日年2

積極的に影響しつよあるが何しる | 管下膨素に フィゴ』七百八十九 【:・・・ 」 給與都では林野雄化を一共に林野保護の質績を懸げるべ 松散を奬勵 フイゴ七百箇配布 始興郡の計畫成る

間を配布し物税を飲かしめること 部その他多数列席の上端行、ほ足 日午別十時から華城里院グラウン い肌不に次き青木組頭の答評が

> 小學生徒の純情 罹災の公普生徒に

婦人工場見學團

五日午前九時までにお申込み下さい 家庭の皆織へ各種の下場の質情を知つていたとくことはお干燥方の御教育なり御家庭の經濟上なり、その他白々の とに大鱧蘭参考になることも思ひまして、この県原圏を組織することになりました、左記専項側欧別の上、 水登浦町各種工場見學

見學日…

和] 戰馬第二日目(十六日) 版組は左の通りで馬勢既上届約

一日目も賑ふ

参加曾良は各自解當持参のこと(キリンピール意覚にて遠食)▲服装はなるべく極快にして意

後生援 佛教婦人會·國防婦人會 京城日報·毎日申報支局

(鬼村)二分十四砂五分の三○○米、四頭立。一着バーマ第四頭馬(本仏袖新馬)一、

教育會總會

馬山の會場は遂にお斷り 理由は宿屋の不足

ることは認識不足も西だしいと析 観させてゐる、以下 た方がよいと を開いた

長即ち教育者側は現在の馬山と

組合員を整備する那の彫動に大いで手載さを取ったとの通知があり の影面を送達して来たので、森田

風種の掃立

期日を統制 乾繭の徹底を期す

忠北で竹の栽培

日中の時から総合部費を開催、來る六四時から総合部費を開催、來る六四時から総合部費を開催、來る六四時からに、一日十後 である。これがら中止に決した次第 仁川商議部會 統制した、之は實に劃期的試みで すと共に現在の範疇能力を調査 先づ本春露期は十六日から廿七

資會開催

の軍は十三日認可の新設方申請中の



町塀練區吞下市京東

店 音九五九〇間 音二九九〇 音五八二〇 音八八〇〇 雷八八六 京











第三日目



「大国」既報、減失した義城公立 (本田)二分、二大国」既報、減失した義城公立 (本田)二分、二十三の末で各段校舎に分喚して教育 (第十三の末、(原附)二分、二十三の末で各段校舎に分喚して教育 (第十三の 大の〇米五郎立、一

二百個の硯を

言着ウロコ (大)

りるに店際名誉 丸〇〇一・丸〇三

ランゲリン

る……內用インシュリン膽汁製劑削として、現今最も廣く賞用さる特に輕症及中等症患者の常時連用

有望ながら

常松さんの土産話

大量の苗木

満洲國から 忠北へ注文

仁川の祝賀に贈る

[山川] 祝賀第

本社のトーキー大会・第二十六日後本前

窓間では七千五百國を解出しブー 【清州】苗木生産過剰に悩んでゐ

属山」馬耶緑道勝武陣僧のため一一番を占め職員では全校の四十二 時醒來、牲前の配着に次の如一校二十個年記念職獎として父兄同 展開長は十五日午|竜牧野数艦が一等を獲得、なほ同

に猿道治を初め継郎、鸛一完成の後、嫁入な記念式を続行す。の一部苗木生重業者には本眷質れが心報語の通り馬の縁郎、舞一完成の後、嫁入な記念式を続行す。の一部苗木生重業者には本眷質れが心得していては既二五十 ルと容置する群じこれが七月上しば、古折(戦、朝 かなニュース、道内が治過一説

ニュースに譲いてメトロ特件の鑑字篇『玩具の園』九卷をめ木の上に陣取る館がけの觀察もあり粒三千の府民が鑑れた 會を握し人類を集めた、明朝刑職派はさしもに既い境内を埋 整一級職に観察の腹の皮をよらせて十時十五分監督器に開留 文局では午後八時十五分から神心境内で祝賀班外トーキー

て弱ど痛めてゐたところ、十五日多數あり既に時期も過ぎたことと

水原チフス醸防

對し左記日割で傷チフス像原注射

は十四日頗る元の內地修學旅行

一個 「大郎」 野北時から東雲 東北た四春半大 東北たのまれた

7 酮 商

蠳 平 所張出 旭 府

歴史に思談を重ねて第一次の協

が機関協力の防空河間に開する

四打合師は十六日午前から師

雍南】 既聚、 ※6九月十七、八

消律上木出張所では工事の完成を

快鳳丸 漁業監視船

委録が正式に任命されて具體解詞

すたはも 曼校観合では 十五月 | 近議を暴げて先づ巻さに必要な | 20 年代五時より温度議会員とで接し | 日左の訴訟が登記した | 1 日左の訴訟が関係を表示した | 1 日本の訴訟が関係を表示した | 1 日本のが関係を表示した | 1 日本のが関係を表示した | 1 日本のが関係を表示した | 1 日本のが | 1 日本の

熱意はやうやく表面化し庭上調査

る女學校建設に對する昌田

【會學】大會學理設の第一步であ

共に規在の第二期工事の完成部分 あった。一方工事を意理してゐる の解放賃付方を照前するところが 府に派し現地の事情を報告すると

協議會開く

三間北非、問島にかけて大

ので解説する説にゆかないとの方(丸は十五日午前八昧街海州から満)ることに決定したるまでは極々支障が懸念される(濃津)是球省の漁業監測船技庫、査に着手上路これが實現に選進す

逃倒隔, 飯道局、威北道廳、元山

計畫縮小ご聞いて

郡民の悲壯な叫び

端川で郡民大會を開き

内神興寺の内院框が類域した
な任獲陽署質下では由火のため由

明始するとは理感不可能であると、出席のため近く上原する竹門知事明始するとは理感不可能であると、出席のため近く上原する竹門知事

緒に思恵を確してるたに制らず

出席道書局では光絵来これが登場「羅南」語「塩地田のため潜電池」

|春川||山火事の多い季節に入り

対であり目下地狀打開の方策につ | 歳に入港、船長武富技師は採田水

鰛加工々塲大弱り

|本島菅門間も〇〇町歩四千間 このまと戦地縦末郭狭の掀漑を等。 養腐の方法を狭つてゐるが錯局大ツ。 一千三百五十間 《迪川常内》 本巻来名本庭加上・国旗影響論を と同時上観々整演したが問題が订ら、一年三百五十間 《迪川常内》 本巻来名本庭加上・国旗影響論を と同時上観々整演したが問題が订ら、一年に考りの集み立ちずまであるか

このまゝ敷地銀未解決の状態を持

月上山胡伽される全鮮知事館師に遊戯の方法を練つてゐるが結局大

會寧の高女誘致

五學議を調査委員にあげ

具體的運動に入る

江原道の

待たれる第二期工事の完成

殺とみられてゐる

長湍教育會

か至つぼで天始喧嘩に花が咲いた

しく、全く生活苦による歌世自

を開始する機能である **有工し本年の結氷期前に耐量放送** 干却工機線計製圏により本月中に に政治所は、一般附近で都拠地七 股の準備を進める点様である。な

|よ積極的に象防陣の蜀化艦光を期.長崩っは木生医に長節頭の埋立を 陳傳した

清津の漁港一帯は

十六日午期四時港町三谷銀材所度。 一○七大工権焼錬要率女史(ご)ははれな人態がある――呂内間低減

海岸に投身した、夫婦間には手供

ゆく花に先んじて投身自殺したあ

【羅南】生仙岩と戦ひ得ず、飲り

|は別記像防治菌の設立によつて愈||【鲁川】いわしの趣として有名な 校の學録増加等重要案件について

道當局に陳情

立工事促進を初め上水道敷設。下午の一番三郎の諸氏は十五日來追長前畑

人妻身投げ

産業器が膨脹してをり今年は新た黙、第三回土木漑、第四及び五回

* 「大」、中島政市、大西「蛇蝎樹塔を建設することになった。

互帰的に高さ二十米の草々たる園

段勝ば临に追繼者臨前長受腸カッ

上、日午後加籤によつて組合せ

プは、第一回上木郎、第二回産業 を定める、個に本毗客贈の豪ある の南は高等警通學校運動場で明確

倉川】江殿道間では近く総舎の

水準改修及び市町區の取止、小り

部数返回側段はそのまと居残り指

はいからでは 日下脚取術項架の音楽消中の朝 大郎に置かれてゐるので直當局で

ケ年平均死亡者数は内許外人を合 年以降向十年までの四ヶ年間の一

三百四十一名といふ暖かはしい

上城中の前田府尹から吉報舞込む

結水前に試験放送

し能能解な結長の機能に輸出さん

計画してあるが地工場田村市、

上に實現

の定期より能削速り連絡飛行を設

けることしなった

江原道廳に

元成したので二十二日(金曜日) 後帰修工事を急いだ結果清定場も ため飛行を中止してゐたが、その 盛の解氷による思コンデションの

周連一群議想路飛行は清肆飛行

の清津放送局

【國典】江殿成常開泊のは石網礁、第を長前、新浦の二ヶ所に置き役 設立を認可され 一日初總會開く

東海巾着網漁組

新京清津

一たが打合事項は 原語を対策は、終四林 を 医家内療・株婆社会日本、経営体道は、マット・ウムシ経会管側、第三組角林社・田・ナムシ経会管側、第三組

坡州月籠面 北元帝、新暦面入除里遠合根の二十年と表彰、午後一寺下っては ▲取引木炭の品質、將來月別所なの世帯をは、京凍総料商代表等を変く いての懇談質にあり選來の金化郡

の章日里面効學校に懸权とするを哲學する話であるが同時に従来 近く認可となり、直もに假校会 競技する一方工<mark>製八干</mark>圏で接合 汝山】坡州郡月源面の西通學校 等について思議した

咸興名所

記・ ・ 本市家、十二日 ・ 本市家、十二日 ・ 本市家、十二日 ・ 本市家、十二日は新河面を味味 がら十二時半まで郡宮議室で座源 版から十二時半まで郡宮議室で座源 がら十二時半まで郡宮議室で座源 のも十二時半まで郡宮議室で座源 がら、米山技学の一行は去る十二日

11-64

▲本宮▲解州寺▲定和陵

記者國の釣競技

「藤興! 片な威興與条前指待に出る成果記者個の動競技は十六日子 後三時から片倉彦魚地で開阔、神祭まで助り親けたが非貴長の岩東 大兆に水中に在るが如く歳割すると共に水中に在るが如く歳割すると、いっり里とを乗りまった。 関係に総通し親い**婦人**層にあっては、これが 家態が急性となって趣べの故郷を生じ、殊に 家態が急性となって趣べの故郷を生じ、殊に 米同様に此の時期に活躍を始めるのです。 婦人病の第一の

7月細が不順になる マこしけが澤山下リる

日安になるものは

ツ・梅……等を締めて正に金五十 ||人容、大郎石風銀、海苔、パイ め、親、ツルチュク、麻煙灌漑地 連盟野都記憶のホームスパンを初

けられるやうな感じ)

十 - 五等音田蔵興署版▲特大賞石田 に に對する授與式あり謝客述美術に し、解放した、秀道は水谷元権の小鮒 二尾にハゼニ尾

「等松坂京日▲四壁石田商工▲等八谷北時▲二等旧上朝新▲

城、長端、坡州三澤西に関する整官鮮語試験(開城)

照う云と時は番早く病気の出鼻を抱くこと ▼腰痛、肩疑、腰冷等であります

▼下腹壁感(下腹が掛つたり押しつ)▼頭痛・眩暈、全身倦怠

威權の薬

物界は高断機能で入ります、炎づて、解壁 本の芽立つ四五月から初更になると織ての

春から初夏にかけて

惱まされる婦人病

連絡飛行 廿二日から 復活と決定

良組合總會 春川木炭改

一覧が三部均等の催慨によることを さやう一般に希認してゐるが、青

なほ常局に提出すべき陳病階は左 常設道をして替業線たらしめんな場所が見一同は萬難を排して増

Machine Mach

間を進めてゐた咸北結核豫所協宜

電智地質局に機能変質を引動する 意識あり、各方面の代表書交々起

経南」かれて道所生態で設立理

けふ發會式

結核防協

|年間十時から福川公職グラウンド これが動策協議のため去る十七日 で郡民大会を開催、第二十名の参

範囲式を製行することに決定した

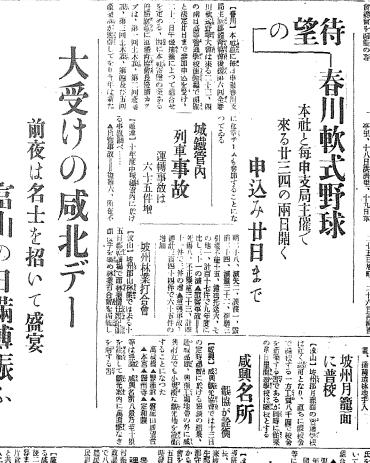
を要することが難つたので同様を

要路に陳情委員を派遣

川海に比し千数百米の高所にありてこれを買売する原川江を配開し流下利用せとかる単位低り数十萬キロに及ぶべき動力を得らること聞く、近時新聞の登録かる所によれば既にこれが、 に利用儀の御許可ありたる由な水力開設につき長津江水電會此 材料食料品、機械類の優人、工事して腹腔する機構であるが、この連、質質上現在より不利となることなって、まに見てするが、この連、質質上現在より不利となることなって、または、

一時から部間御田田

【参川】 参川郡木炭敗良組合では



題を装ると師時に日館に増加する中切から上昇した新選は一般の行 増加し、密期三年を禁して既に四 り、即覧管事務當局では今月上 四 から恵まれた天候で散然人場者を「て入場者増加にピッチをあげてを 日前産業大順際確ではこの月初め「全国的資合等による来基準により、高山級」高山市上能で開資中の一地方型校生徒の修製鉱行、各種の 平切から上昇した氣選は一般の行」してある、わが蟹駐離は適刑額、工度高の人間溜を見、特にこの月「幾定の収入をみたといふ鑑別を気 設生徒の修學取行、首節の 常十五日は既殺の威北テー常日で 回至買い換して総々地蔵、二等は

初興産装舞艦に大きい役を辿つて が届した朝鮮資源が多大の理解と 代数果を駆げてゐたことは重報 坂下正男君といよ若い衆さんが一 聖火 志則 名等々、その都度和手帳坂下正男君といよ若い衆 と 「東西」 一年四十分、 都部から見物に来た。 「辛毛ショール四人、 四等健康・ 施裁察への人類は正に施経し年則

- 団の商品等を地き苦て、早一かに保証まで出入が絶えなかつた 城津沖で百六十尾

鱒の流綱にかゝる

れば十四日早朝城建の神合で館で、よことである、これが今年北岬近 【清津】水産試験基への報告によ、網に古六十尾の臨がかゝつたと、

海での鰮初源であるが去年に比べ 咸北辭令(點)

は國家質線の開設、交通の

整架署茂山縣部補 版准命城津小學校動粉

(倒 定)

本舗

津村順天堂 喜店

▲削田咸北産業課長 十八日富山 命茂山整聚署動務 ▲中村正三郎氏(維正)十六日東 北道線を訪問、清津へ 北道線を訪問、清津へ

無意に庇裳の如く大月一日をもつ。下可能といはれてをり前郷売盤俊(に記さる人下切で上丘日がに(清津)清郎雄等三説の瀬郷養假 | レー五銭よりたほ三十銭内外の底。徐闌し、かれて郷爛中のところ愈

下可能といはれてをり蘭經証蓋後

た竣工は八月中旬の見込みであると工質三萬八千圓で十五日者工し

の極端に極る所ではこれが振築を

「清津」沿岸貿易埠頭の利用湖地

委任實現と同時に

低下をはかる意向



産前産後深腫鶏乳







前漢祭では二十二日(金曜) 成典(署) 撃會 【成典)

しいと思ひます。

主効

歩七四射撃場で置き

柳瀬氏就任披露











V

帷

酸綜合强

쨎

慢性呼吸器病患者をはじめ

The second









● 体蛋白の補給は、肉類や卵の如き滋養物の攝取で、或る程度は

事足りますが、それも胃腸の健全な場合に限る。と云ふのは、

衰へて、その補ひ―榮養―が身につかねためです。

健康者に比べて体蛋白の消耗が基だしいのと、胃腸機能が

慢性胃腸病患者、手術後患者などが衰弱に陥るのは、

M

双

Ü

● それで蛋白質よりもアミノ酸の方が消化の要らの點に於て、又 蛋白質はそのま、体内に吸收同化されることは絶對になく、 ず各種のアミノ酸に消化されなければならないからです。. 食塾増進その他特殊の生理的作用を有する点に於て、その効率

内科・産婦人科・小兒科・外科等各科多數の醫學博士の處方推變を得て

優れた獨自の作用他の榮養劑に比べて 2・組織細胞を賦活して、新陳代謝をよくし、抗病治癒力を増進します。 劑とは全然本質を異にしたもので、次の如き獨自の作用を發揮します。 從つて微量のアミノ酸を含むものや、原料そのまゝの粗雑な未消化性榮養 等各種の有要アミノ酸を豊富に含んでゐます。 したもので、血液素、筋肉素、發育素、食慾素、活力素、ホルモン素 消化が要らぬから、胃腸の弱い消化不良の人にも榮養價値が大です。 胃腸消化液の分泌を促し、食慾をすゝめ、且つ胃脇を丈夫にします。 原料とし、胃腸消化と同じやうに酵素を以て消化

ある所以も、

實に近代榮養學理に

適つたアミノ酸綜合

割であるからです。 が高いわけで、ポリタミン製出の目的も茲にあり、 ポリタミンは極めて榮養價に富む動物性蛋白を

遒 應 病中病後で衰弱した人、 結核性体質の人

易い人、病身の人、腺病質の子供等 人、ホルモン不足に基く虚弱者、疲 肉や玉子を食べても栄養不良の人、 食慾のない人、産前産後、呼吸器の 弱い 胃弱

甘美味の液剤

大瓶 (四圓五〇銭)中瓶 (二圓五〇銭) 小瓶 (一圓五五 名地薬店に販



兵長田武辯

町修兰區東市阪大

店 商 衛 兵 新 西 小 益 町本市京東 店理代東關 社會式株藥製五大 通上湖市版大 元 造 製

%--\$48(0)

易于「肺結核の養生法」 無代送呈

東邊が率るる三百廿名の合流開戦

反響を企躍し、その機を競ってる 野内整備の間隙に楽じて一般鮮内 が制能一帯に緊虐の限りを強し、 に高粱畑の向ふから馬服の頭目古 禁ってゐる。そしてこの繁茂し 碧邇の對岸端洲間は丈なす高粱

との耐報が難りに除はり、國境

一哭如丧等は「日本人米れり」と総

脚上文献定を辿てた

一面人容是者に出會った、同巡重は一部が続くこの前人三くこれは、同巡重は一

丈能の福祉畑の間道を急ぐ閉巡査

受けて血道器だ、怨み重なる眼瞼

世、再の困避血は既に身に敗罪を

送野祖はコンビ好く、常々たるテートで雑雄を決することになつた。新聞七の一騎打を滅じ、恩致の黄、Aとなり、来の廿三日再び強戦コ

野野祖三組を削し、黄は野祖と気

の第一位に馬を進めた、艦島第は一本胎局面銀版は同五時から蘇銀コ

本府軍は樂々と三勝者

職したが日辺のためドロン・ゲー 殿を兼けた鈴木、元組だけが指電

を守つて商銀軍の追蹤を退けて三 和実、張の後衛陣は墜實にコート

が黄、浅野組の實力から見て七分

の簡味は勘費にあると見られる

(大調線解論)

東京大相撲

五日日

十度北五分の地騒において暇聴に思神合東部百三十六度五分北線三

は、十八日午前二時三十分硫黄列 順第五日之出丸(百四十六トン) 【東京電話】 東海巡洋漁業館町帆

皮その心熱帯地方の特産物ばかりされる、出品物はサンゴ、水牛、蛇 進出は疑初のとで各方面から随待

> 漁船の遭難 **鄭黄列島沖で**

り込んで行つた、当二無二の突縮

資の領化だ、高粱畑の中に敷削火

花が辿り叫喚が置いた、だが、 れのした勇敢さだ、國境を守る重

第四ラウンド (数 隆四一一 (本) (本) 正四)―四(本) (本) 一四(本) (本) 一四(本)

┙┘ 碒狱

危い橋桁をとり

がに重大な危険に直面しい

た居の上では八月の中旬だが、も

ナレの流れを越えて、國籍の

物語り(四八)=

鍵であるが、現在の京城には

日前の動令艦に限令でフロックコ 「路総は四階級しかなく、また高級」(異点電話」内職登職局では十九。までに分れてあるに拘らず、動革

賞励局でけるから實施

眺戯して東洋観光ルートを継定しつけるため飛行機・汽船・汽船を

一説を求め質加することになった。 も、観光収入が重要収入となつ

等の探將ルートがあげられてゐる一総道局では運動、下務朝器主催で

▲京城──総城▲京城─金剛山 ▲签山---安東▲签山-

この計画は日本の質励外収入のう

整質能に提出し加盟各國の正式水 光質解及び第一回東洋観光連絡運 明年末印度で開催される第二回歴

ースは脳南線を除き

鐵道局の

通信競技會

明年印度の世界會議へ提出

本側打合會設は、内肝臓の繊道、

する大動立架化華以下各種動達の一たくめ、今回各動等、助設能に天

々の色彩と構成を異にした駱緞を 動師を現すについての統一が飲け

なつてるる、耐してこのうちには とになったもので、全部二割引と トト、モーニングコート等に服用:

從来の略級制式では勘算が一等か

附加税を合はせて内地人なら

「年から滞在日敷三ヶ月以上の治

十一等 (年牧三蔵園以上) 返けま 等(非政十四萬四以上)一名、廿

八等 (年収十三萬圓以上) から六 に一名、朝鮮人が二名、次が仕七

九十二、朝鮮人三萬二千三百八十 い。その中内地人は二萬九千三百 五百七十四戸、その半敷に満たた てを締めて類京城府全世帯十三両

四等級に分つて測乱することに

最低額の 百計等(年収三(京城・平戦・東義州、南山及沿津収・土工古國以上)からである - 州、ラヨコ・「ことし」

航空郵便激增

四十餘機關を連絡する東洋觀光券

谷勳章各階級の

略綬章を制定

器を破する、新原率によると年収 であるが、砂瓶は従来の年収五百

等(年収十五萬圓以上)で内地人| 戸の中納郡し得るものは六萬二千 |

戰便數十一萬一千七百九十七連、

脚瀬が決定、計員強に長々告旬

第頭だ、大脳はずつと飛んで仕去

筆頭は廿三萬圓が唯

戸別税最低三百圓に引下け

人混みを扱けて から洩る街角の

見える、汗ばむ 機器人践は百世人に達し、この内。困らしてゐる、當局から昨年喪収 して二世、五十七人の増加を示し一番独島ではさらに確認局と協力、 廿一件、百十八名で、前年に比較 直見、雷言大百九十 止武裁制の結果虚謎を受けたもの一されたダイナマイトは二萬八千六 でいる。これは取締営局の機器が | 漁業起版の建削から積極的に緊要

九箇であるが

コンゼファーの高級単数設をした

にポラ・チヌ、豚の肝を狙ひ、不

新車デビュー

富な利益を語み、善良な漁業者

通光館便物十二萬二千四百二通

新税からみた收入

を励してるたが、今年はわが朝鮮 |の日を中心に東郷兀|

れたので、特に故人を思ぶため征

自治一切不明、西大門智では行路。城海軍職係者と臨論を進めてるた

遂に判らわ 一型便の皆及を物語つてゐる。素層らしい激増振りを見せて 府廳に引渡す

十一線を納入するので、この人が | 盲圓以上) は七千八百八十人で總 | の各航空郵便受漁局で昭和十年中 **小包郵便物九百廿一節で、到着数一接し饅哩弾することになつた** に取扱った航空膨便が立動は延常 死亡者として豆琥筋粒酸源に引き 至るも何い關係者の屈出もなく、 ポパ、撃岳山の死體は十八日夜に 一を偲ぶ腹腮蘭を聞くとになった。

御法度の爆薬使

海軍記念日 政際族子を偲ぶ 廿七日から三越で展覧曾

条屋には作像を断げて遺憾を側いる

万時の記念日 本府で功勞者を表彰

に続する研究術を表彰すること、「含主化を治療電池事業職総會部を 「悪ではこの記念日を振動に「唐」 日は認道事務所費、電話製造、電話製造、電話製造・ 電話製造・ 電話製造・ 電話製造・ 電話製造・ 一名 氏名を収鑑め中であったが、この一が主なる認趣は より、過酸各直知事に對し助等者 総行廿七、八兩日は分科質を聞く ハ月十日は「時の記念日」と一廿五日全郎遺信技術祭廿四名、

ほど田揃つたので目下審議監動中一

と、保政の待遇改善問題等が提出される否 長距離電話を自由に使用させるこ

口灣の特産品を 三中井で即賣會

日から三十一日まで三中井ギヤラ 台湾基隆特産品即費請は來る廿七

リーで開催されるが、台湾の朝鮮

一 成養

国語版行界へ活躍出來る唯一の羅 自本設是 東京市園町間外専門 見本設是 東京市園町間外専門 見本設定 北京東京市園町間内専門 見本設定 北京東京市園町間内専門 見本設定 北京東京市園町間内専門 東京市園町間内専門

六日目取

ダ小見内科病院 涡室完備 京城府南山町一丁

重新事情也可能 思書を去れ つのため國のため

累帝開発節 山崎 田岡 常名写き京をいからす ニ州三州五州 血昼坊近を 脚地す あみれる 動脈硬化 獨、佛、五ケ國特許

量りがも 天気

が大きた。 通信科、奥成科、特典修了者全國無 、開業局及必要關係書類完備、 専則 ・文献送星(要四銭)

京新土佐城三八四 京 法 學 三院

朝鮮説明協會 成本三三八三番 明本公司等は住原城吉郎時代 (永樂町共育無遊尊社城人) (永樂町共育無遊尊社城人)

取締が嚴重になる程巧妙に出没する 者が近年酸増しため機器数も増加 船を使つて富局を脱目に無話を追 ひ爆響の力で漁場を荒らしてゐる 警務、殖産兩局が協力一掃す といふ趣向である 街の人氣者

近(京境起転)十三粁)の縦路を 、日午後六時頃京遠線一山縣附 刎ね飛ばさる

夫)に刎ね飛ばされ、顔面その他 域行1○四號別軍(運動手計重利 島陽部中面日石里李二國さんでも か通行中、折から驀進し來つた京

京城者草町橋本自動車商店では十 リンコンゼファーはV壁十二温道 八日フォード驚嘘の新徳賢取リン「で一一〇馬力、流線型でボデイ

正宗御筆の珍品等の外側館帯温声 下見は午削九時より午後二時まで 最年、古四、蒙石、百萬、大觀、 蘇點あり、その他出品中には常常 前部、松永明着を思ふに絶好

殿られて死ぬ

は金のため散々戦打され、十七日 請求したことから喧響となり、趣去る一日趙國典なのが牛肉代金を

經濟治陽牛肉販賣店金幣出

宮脇農學博士 御指導 為明書巡絡 京城爾大門通二丁目

貨 ※ 京日案内

恩

意思 全日 本語は大地道はも加 を下 有利に御出談女主す 市域所古市町三五番地 三 本番地 三 本番地

危い線路歩き

阿部松永家舊藏

京城府崎町七、電竜山八〇番、医学博士、橋本古、菰

入院隨意

書圖骨董展覽 前京陸道長官が受職し

た書画作者製中、朝鮮

手に入れた東京の金森

が非常に低く

黄桃 內製館

西洋梨

ばい 書

格響樂 別八円 特六円

様の取れれ人

蜜柑

汗ばむこの頃

お出かけ前にはゼヒー滴

表頭には多数 してゐる、融 ある、價格も

TA DAY

金

(各食料品)

ハンカチに ネクタイに お帽子に 御矜に

與 撄

稿

呼重 EE 東京市会議士 豊 成 區 會 東京市会議士 皇 成 區 會 東京市会議 土 皇 成 區 會

日本小兒科學會 諸權威 御推獎

大 全歌園也以上 京城本町五丁目 京城本町五丁目 京城本町五丁目 京城本町五丁目

わしたことのない、他の十九の少

を飾られるやうな苦痛には、出く

女の心の中に崩し始めた、

てしまつたらしい。現在の姿を一だらうと思うますのの

九局と幽は八一馬迄の局面

鈴木氏 | 回腾二人目

人人の瞳を思はせるやうな暗いも

に採み扱かれて派た不幸な、

にしながら、往意深い月を眺さな

一て雁子は、急に俯向いて、片方の

らと出いかけ

子は、浩介の顔を仰いで、

「植物館へ入つてみませらか?」

々とした木立が選がつてゐた。脈

「さあ……でもあの子は勝窓な性」姿を、病院へ入つて來る人達は、

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

だから大威張りですよ――假りに

と云ったうなものは、雁子の何處 一月に入つて間もなく、浩介は 落ちたとしたつて!

三日期、富枝夫人からの電話 さまと三人で東京へ移る約束だつ 心質で、二人共らかつたら、お母 『私も、午年は津田英學塾へ入る

で、清介は、雁子の怪我は飄飆な

るやうなものなのだ、と聞いて のではなく、一生の運命を左右

十九日番組 火曜日) 放

同七時一分(別)朝の修葺 診開契同七時 今日の天領見込 丸面順大郎 同六時三〇分(東)基健伽温湍単午前六時(東)ラヂオ勝孫 **同八時**(次) 健議――

同九時一五分 氣象通報・料現献同九時一〇分 氣象通報(後山) 同九時 (東) 衛生メモ 加藤 咄堂 医冠契

四重奏曲

ぬやうではどつも適苦壁は免ねふ烈しい駆迫を避けなければな

にて鈴木氏の斯

目分が提げて來た、わずれなぐさ コップの中の何時か愛子と來た時

一あれから

「少し、月外へ出てみませらか?」

○特時間各九時間 ◆所要時間

た霊襲を、浩介は、ゴクリと春 如何ですか?と口の先迄出から

うに、窓の方を見ながら、

して、道り場に迷った視線を、

を功能が出来ですれば無理などころのの平手観は孰れにしても實力振騰をあった。 のがあつた。

でも、。一高を受けるんだつて難い

それを機管にい情化は京を履へ

少しづく歩く稽古をしませ

八良 金易二郎

『なるに……。四年から受けるん』過ぎた。蹴い砂利道の坂を下りて分ですから、落ちたりするとー。』デロノ(無道度な目で膨めて通り しまうと、目の前に、島慶花の黒 訓・毎山) 温味と養養 ・リーガン
- リーガン

の同三時一五分 土婦の時間(領 師る既(一) 上田 常一 上田 常一 同四時ニュース(須象通報・釡同三時四〇分(東)須象連報 | ス・- 演象通報・受けの書組(地 | 午前で除:10分(東) 家庭家部 | 11/10 | 次行 東部家部 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10 | 11/10

放

同四時10分(東) 京塩所大色力 第四 大田 大田 国大時(大) コドモの新聞 同六時(大) コドモの新聞 関六時(大) コドモの新聞 (大) コドモの新聞

朝鮮。干瀉四頭。蟹

3つまならずすべれて異れない

座 财 時二 後午

> Ł 田 當

行って食服に鑑取りを始めるので

1 イヴァレとアン・ヴォーザークの 賑やかなレヴューの葬臺面でルデー は出かけます……

先月までの政選で、

いて二回に重つて面白くお話して あります。私はこれ等のことに就 ありますが、これが交質に壯観で

畫 零時五分

にご配じの如く頻節の西部および 時候も指々居くなつて海差

電部の近海は、潮汐下嶺の室の大 **慰ひどい所がありまして一度潮が**

相 竹内 諸一 竹内 諸一

(見又にいつたことも、親父がお袋」 そんなに高の事ちやない、お袋が「+

れる に乗って愉快なメロディでうたは に乗って愉快なメロディでうたは

Q

三字新進の榮譽を一人で據ってある。
のがある筈

が下四段の八一龍は霧筋であつた。それでも百分間――、最後の等力を置してみる。如何にしているので投行出てことを考べた。と云つてゐるが、飛車を得て敵玉に必至がかてつてゐれば相當面白いちゃないかと、こと、こ

・ヴァレアン・ヴォご よなら アナベル

|時(東)世の時間 || ||表所より中醫 大阪

脱に分壁し整調を要する人々を取

秋 岡 | 大田 柳田 岡男 | 大田 柳田 岡男 | 大田 柳田 岡男 | 大田 柳田 同 | 八) | 田 宮 り中郷 | コール | 日本郷 | コール | 日本郷 | 日

同八時(名)落語 兵庫船經濟學博士 向井 塵松

3・4はデビューの夜アイリンギを貴方は好いたわね……

として、息極天皇、李滬天皇、齊

圖

二十日云、物

天智天皇 大阪國史劇研究會 の御事継は日本の歴史上、神武天 上げることが出来るでありませう 「君に二政無く・臣に二語無き』

谷公留堂上り中蔵新交響売園同八時五〇分(東)管徳業―日比

い差子標が激彩くお出ましたなり 重ましい日本武尊様、お 統一に導かれた大像業・それらを が日本圏の政治組織、社會組織を い掘い脚窓志、などを、お話と幽 甲上げる忠臣議正治め、多くの忠

朝 鮮 總質所就會課 の社 會 竹會,

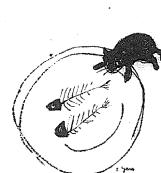
害と困難をも頭前し配的氏題を それに伴つて変多の航空生活の数 数据の数据が如何に忍び強いものしたことは言ふまでもないが他面 対象の対き呈してお面に こまき の野長、祗館の選比が、深く北曽に漫韻するに至ったので **州場の美を宝した反節に、これ等** であつたかは云ふを俟たない所で ある。近世文明が一面に於て百花

配館前利を構ひし和に社館的重節 思たるかの如く、或は腫脹し或は、策はこれ等の社の医患を治療し要 化の途上において荒ど死れ難い疾 比較し、たどに人たるの生活を剝 除せんとするものに外ならないの これ。等の社會的鐵廠は両は、其の属理の発明に寄むることが像 職師に比合理的に置義あらしめん であるが、これ等の活動をして組 社館事業なり、社館政

護者アイリン・メンはジーゲフ

の譲運、都市人口の集中、無産衛 り近時の健生ではないが近世産業 れ脚繁せられ、所くしてそれが极一るこれ等の疾患院竟を考察し心臓などを治療能として能 程 密 添さ一麽朋鬼と云ふ院母より衝撃におけ 特に自由競術の高度化

べ跡を見れ ヤン会か喰 ば分るス ワン公か 歯を見れば モカか何か



定價十五錐 標草化粧品

初夏の雨上り。と云ふびやかな心地になる 0000 のききめ

紕 ar es Ł 賞 밂

學校・學年・姓名を明記のこと 尚小中女學生の方は府縣郡作品の裏に明記のこと 尚小中女學生の方は府縣市作品の裏に明記のこと 尚小中女學生の方は府縣市森承の菓子包裝材料、森承手ヨコレート類包裝材料森森市 **米株式會社** (麦部) 生學女中小 名十二 宛(亲脸) **凰十 選特** 名十七 " **凰七 等一** 圖五 等二 名百三 ″ 圖三 等三 名百八

料料料規

顧問及審查員 東京美術學校教授、東京美術學校長

山和和正 田田木 三英直 造作意

先先先先先先先

生生生生生生生

船

名 十宛(秀龍) 圓十三 選特

"圖十二 等一 "圖 十 等二 "圖 五 等三 名士二 名十 fi. 名自二 名手市為二 賞 作佳 品用學 作佳 賯 有一下

社會武林集製示森

790

五月十六日東京

企 東 武工 京 辞版 行

で高子に膨張ホウェウのつれを顕し差し、アカエイの概念で若い假

朝鮮垂船定期出山

(島迪ふ干島に文ことづけて) 若し との話。さては父明石廟の法財に さそい合せてお伊勢指りをしよう で、今度此の度能呂界に、魚の敷を ちやんと締め、太刀魚なんぞを落 へ器網引く乙女の眼に神のかもめ ○明石一寸出て舞子の海よ(窓路 (イ)手術福明 花野安太郎ほか 取 ふて雑魚製へ上り、間部足のて酸 はんに無は百号あるが洗吹きまり に て鱧にいかなご通びまはす、是から光は流んだとび魚、世勢が急等 月あいの山には、壁に大蛙頭く三 映版はチヌさんべきさんあふらめ さん、仲のアダさんグチをこぼし 節は世勢の海へとよ へ行に進はア コチばつかりがやつ

ではばばばいてす まる。止めて交止まらの色の道 ドンドン

ホイセ 新の孫廻きに

釜山出物 九州郵船株式會社

代型塔野口商會

代理店

◎曜子 よいとな…… とはサワラば下

サア品よく止

威海衛、芝罘、大連行